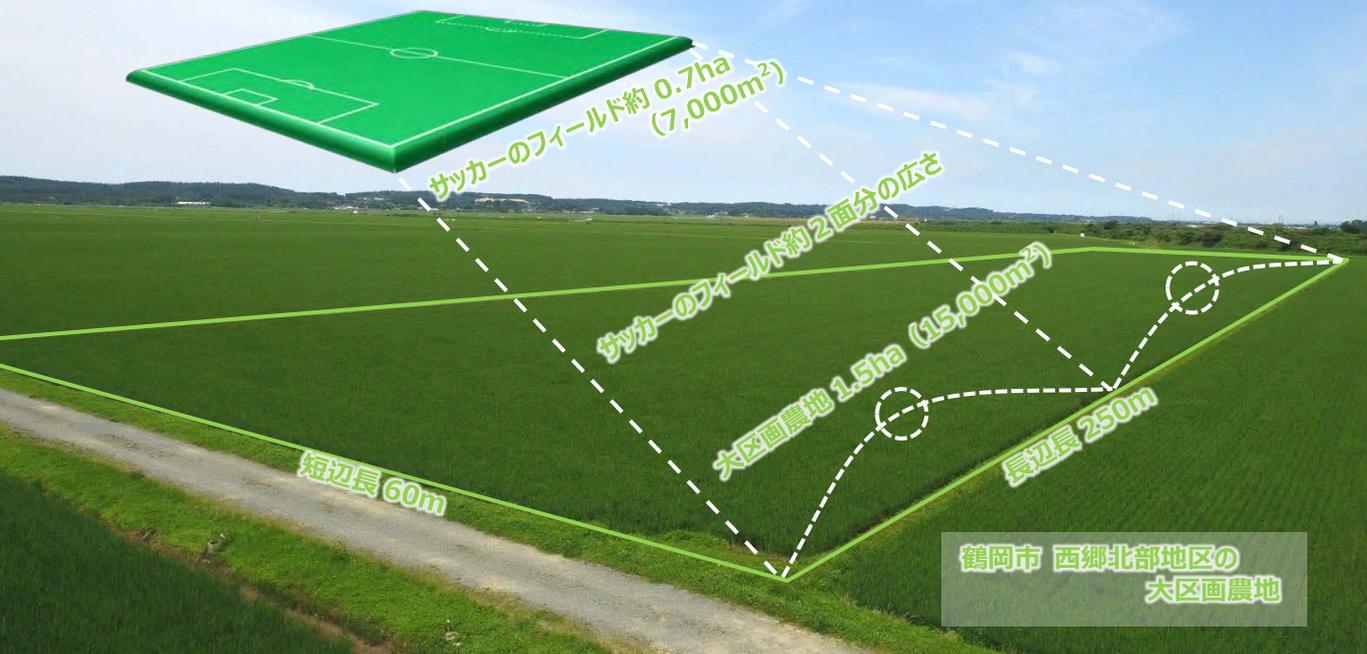




～やまがたけんの大区画農地～



大区画農地で営農している 農家の方の声

大区画化による大型機械の導入などによって作業効率が良くなった。効率の良い営農を目的に法人化が進み、メロンやミニトマトなどの栽培にも力を入れている。

用排水が整備され、道路を区切りに作物のローテーションもしやすい。



大区画化を行った
西郷土地改良区
理事長 佐藤 保さん

未来へつなぐ農地

農業においてもほかの産業と同様に高齢化、担い手不足が課題となっていて、限られた担い手で地域の農地を守り、維持していくためには地区の営農ビジョン（誰が、何をやって、どこに売るなど）を描く必要がある。その課題解決方法の一つとして農地整備事業に期待を寄せている地区が多数ある。

小学校の社会の教科書では庄内平野の米づくりが取り上げられ、その中では生産性を高める工夫として大区画や用排水路などの農地整備の事例が紹介されている。

今回は、庄内平野で取り組みが進んでいる地区の大区画農地について紹介する。

用水路と排水路のしくみ

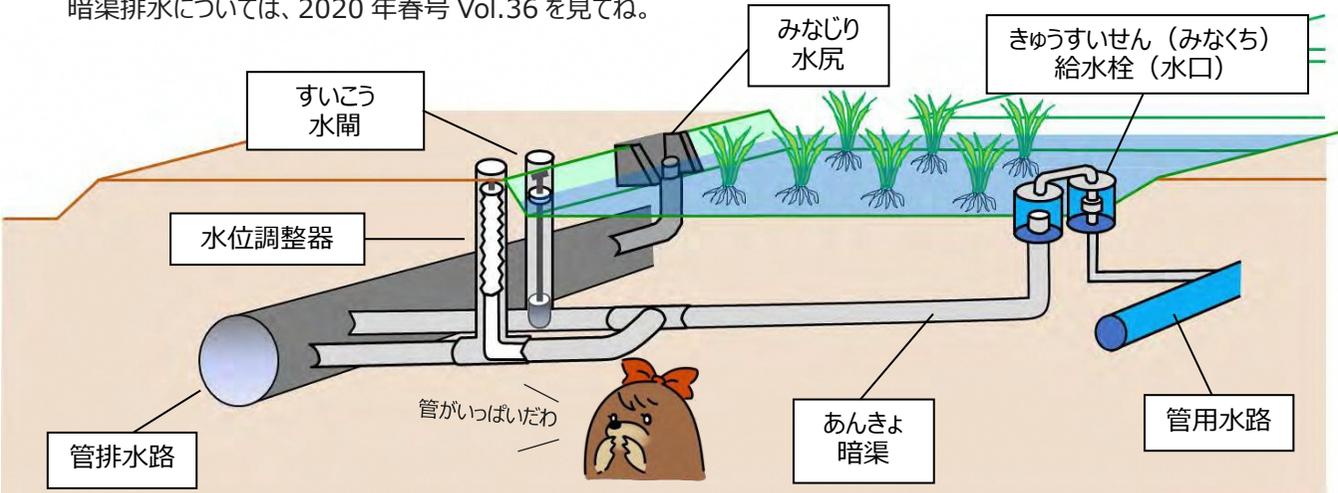
最近の農地整備地区は、用水路も排水路も管路として地下に埋めているよ！

地下に埋めると、水路の斜面がなくなって、農作業が安全にかつ作業がしやすくなるんだ。

また、水管理（給水と排水）作業の手間が少なくなることも作業効率アップにつながっているよ。

暗渠排水については、2020年春号 Vol.36 を見てね。

ぼくが教えるよ



農地にあるこれって何？

- ①給水栓（水口）
農地に水をいれる蛇口のようなもの。
ひねると水がでる仕組みは家庭の水道と一緒にある。



- ②制水弁、空気弁
用水を流す方向の調整や管内の空気をぬくもの。
道路内の路肩などにある。



- ③水尻
農地の地表水を排水するもの。
このタイプは、中央の筒の高さで水の深さを調整する。
農家の方は、気温や天候によって水の深さを調整している。

大区画のメリット

農作業では・・・

- 整形された広い農地で、大型機械の導入などにより、作業がしやすくなる。

作物の栽培では・・・

- 作業がしやすくなって短くなった作業時間を、新たな作物の栽培に活用することができる。

農地の利用では・・・

- 条件が良くなることで、やる気のある担い手が農地を借りやすくなる。

問い合わせはお近くの総合支庁農村計画課まで ☎

村山総合支庁 農村計画課 TEL 023-621-8388
置賜総合支庁 農村計画課 TEL 0238-26-6057

最上総合支庁 農村計画課 TEL 0233-29-1340
庄内総合支庁 農村計画課 TEL 0235-66-5553